

6月10日(土)に行われた「坂祝町青少年町民の集い～元気なさかほぎ発表会～」で  
青少年の主張発表を行った竹内結菜さんの作文です。

## 青少年の主張 Opinions of Teenager 発表作文



### 「それぞれが描く理想に向かって」

中学校 3年 竹内 結菜

みなさんはテレビなどの様々なメディアで政治家という立場に合っていない態度を見てどう感じますか。何度も何度も放送される映像。そこには、変わりそうにない日本の現状が映っていました。

私達日本の若者は、政治離れの世代といわれています。ですが、それは日本の若者は政治に興味が無いのではなく、政治を信頼する理由・投票する理由が見つからないからだと私は考えます。今の日本では、差別発言や議会中の居眠りなどを繰り返す様子が日々放送されています。その映像は、私達若者の心に大きく沁み込んでいます。その地域に住んでいる人々の声を聞いてくれない様に見える日本の政治家に誰が協力したいと思うのでしょうか。もちろん放送されている様な政治家の方々ばかりではないと分かっています。ですが、放送されている様な政治家のみなさんが変わる事が無い限り、この現状が変わる事はないでしょう。また、私にはこの現状に対する怒りも出てきました。

私の祖父は現在、町議会議員を務めています。選挙の時には、様々な人達に協力してもらいながら選挙に挑んでいる姿を、私は小さい頃から見てきました。何週間も前から、応援に来てくれた人に出す物を考えている祖母と母。選挙カーでの放送のために駆けつけて来る叔母と叔父。日程説明会のために早く仕事を切り上げてくる父。当日駆けつけ、様々な事を手伝い、応援して下さる地域の方々。たくさんの方々支

援があつてこそその出馬。当選したのにそれを裏切る様な行動をとっている政治家の方々は私は許す事が出来ません。自分で馬したいという思いを家族に伝え、出馬し、家族は全力でサポートしてくれたはずなのに、と思つてしまいます。それに悪い態度をとつて、一番嫌な思いをして、その先苦勞していくのは、家族だと思いませんか。支えてくれた方、その地域に住んでいる方に悪い目で見られるのも家族です。一番近くで支えてきたのに。以前、私はテレビで居眠りをした議員の家族がインタビューで「私達はそれでも彼を信じ続ける。」と答えていたのを見ました。私は、その言葉に切なさを感じました。どんなにひどい事があつても、どんなに自分が苦勞しても家族はその人を信じ続けていたからです。本人にとつてはクビになつてしまつた、自分の行動が悪かつたな、で終わる事なのかもしれない。しかし、一番近くで応援していた人達は裏切られても、批判されても、その人を信じ続けているのです。

だからこそ私は、そのような国民を代表している政治家の方々がとる態度を、許す事が出来ないし、そこに日本の現状が表れていると感じました。しかしながら残念な事に、テレビに映る映像は、悪いものばかり。居眠り、差別発言、プライベートでの悪い態度、手を出す姿。このままでは、ずっと日本は変わる事が出来ません。ですが私は、若い市長が年上の居眠りをしている議員に対して、「恥を知れ」と叫んでいる報

道を見た時、まだ日本は変われると私は思いました。国民を代表している政治家として、議会で寝ないのは当たり前のことのはずです。年齢関係なく、ダメな事はハッキリとダメと言える人達が居る限り、日本はまだ変われるでしょう。居眠りなどを、平気でする政治家のみなさん。この私の発言は、実現性がないでしょうか。夢を見過ぎているのでしょうか。私達若者は、見るはずのなかつた、見たくなかつた、悔しい日本の現実を日々、見えています。それでも私達は理想や希望をまだ持っています。政治家になる前に、私達が憧れる大人になつてください。自分の言動に責任と覚悟を持つてください。私達日本の子供達は、それぞれが描いている理想の日本になってくれるのをずっと待っています。私は待つだけでなく、二つのことを新たに頑張りたいと思つています。一つ目は自分の役割を全うする事です。私は現在、整美委員長をやつているので、その立場に恥じない様にしていきたいです。そのために、自分の行動に責任を持つて自分の役割を全うしたいです。二つ目は、自分に与えられる選挙権についてです。私には三年後、十八才になつた時に選挙権が与えられます。だからこそ、その選挙権を無駄にしない様、清き一票をこの日本を変えてくれる、そう感じる人に投票したいです。政治家のみなさん。私達はいつまで待てばいいですか。子供達は日本が変わるその時まで、ずっと待っています。

※原文表記のまま掲載しています。